

2023年10月25日

令和5年度第1回堺市美原区政策会議 意見書

米谷 文克

案件1. 各団体等の活動及びつながりについて

○ ライオンズクラブについて

私が所属している堺美原ライオンズクラブは、美原の地で50年にわたって「We Serve」の精神で、様々な地域奉仕活動をすすめてきました。

一昨年創立50周年を迎え、改めて地域、行政とのつながりを重視する活動、美原区ビジョン2025の「めざすべき美原区の将来像と基本理念及び基本方針」に書かれているように「笑顔があふれる美原」をめざして、ライオンズクラブも活動をしていこうとしています。

ビジョンの**基本理念**には、将来像を実現するために大切にしたいこととして、「**美原らしさの発揮**」（地域のつながり、伝統、歴史文化など美原らしさの発揮）「**新しい発想や技術の活用**」（AIやICT等を利用した新しい技術やサービスを新たな発想で活用）「**誰一人取り残さないという決意**」（多様性を認め合い「誰一人取り残さないという決意」という決意を持って活動）の3つ、**基本方針**には「**安全、安心に暮らせる**」（・みんなで取り組む防災、防犯活動・孤立させないコミュニティの強化・安全で快適な交通環境への取組の強化）「**魅力的で訪れたくなる**」（・企業へのアプローチによる地域経済力の強化・アフターコロナを見据えた魅力の発信・みんなが主役の情報発信）「**やってみたいが実現できる**」（総理解を深めチャレンジや自己実現を支え合える環境整備・地域の持続的な発展を支える仕組みの創出）の3つが書かれています。

堺美原ライオンズクラブは、美原区ビジョン2025の実現をめざして、ライオンズでも出来ることに取り組んできました。基本方針の「安全、安心に暮らせる」ために、こども食堂への奉仕や、「魅力的で訪れたくなる」ために、美原区民評議会「美原区における魅力の再評価と発信について」で、「大型商業施設や黒姫山古墳、みはら歴史博物館、舟渡池公園、(仮称)総合防災センターを含め、美原都市拠点内での歩行や自転車道を整備し、訪れた人の利便性や安全性を向上させることにより、地域内の自動車の移動を減少させ、国道309号線の渋滞緩和につなげる必要がある」と答申されました。その実現をめざし、舟渡池公園、防災センター東側空き地の緑化事業、区役所前バスターミナル北側緑地への桜の植樹や美原区内の史跡等の表示看板の新調への検討等に取り組んでいます。その他にも、小学校に出かけて薬物乱用防止教室の開催、世界の平和を願い美原区の小学生に平和ポスターコンテストへの参加活動等を行っています。

これらの活動を通じて、小学生、こども食堂のボランティアの人たちとの交流や、緑化に熱心な人のご協力をいただく等のごことが実現しています。また、史跡看板の新調を通じて地域団体との交流を図っていけると思っています。

○ 自治会活動について

今、東多治井地区自治会の自治会長をさせて貰っています。多くの自治会でも加入率の低下が問題となっていますが、地元自治会でも、新たに引っ越しされてきた方の加入が少なく、現会員の方でも退会がでています。

今年の春頃に朝日新聞に自治会問題の記事が載りました。1000件ほどのアンケートも読ませていただきました。自治会の加入率を上げるヒントとなるものはありませんでした。

私自身、「自治会活動とは何か」と悩んでいるのが現実です。ビジョンでは「誰一人取り残さないという決意」と書かれていますが、ほとんど困っています。

ただ悩んでいるだけではいけないので、先ず、自治会の大きな役割は、地域の絆を強めることだと思い、地域で行われていたチューブ体操クラブやカラオケクラブに加え、百歳体操クラブやカラオケおしゃべりの会を立上げたり、ふれあい喫茶がコロナ前は毎月行われていましたが、隔月になったため、それを補うため会館に珈琲メーカーを買ってふれあい喫茶の合間、チューブ体操、百歳体操、グランドゴルフ、カラオケ終了後夫々が自由に珈琲を飲みながら、夫々のクラブメンバーの会話をすすめ地域の絆を強めようとがんばっています。

また、東多治井地区自治会は、堺市のICTのモデル自治会となっていますので、基本方針に書かれている「安全、安心に暮らせる」ため、いざ災害が起こった時の連絡体制の確立が出来るよう、自治会主催の「スマホ教室」を計画しています。美原区自治推進課に地元太成学院の学生さんに講師として派遣して貰うよう交渉中です。これが出来れば発災時に役立つと思っています。

もう一点、基本方針の「安全、安心に暮らせる」ために、安全で快適な交通環境への取組の強化がうたわれていますが、富田林の金剛バス廃止や阪急路線バスの廃止など最近話題となっています。地元の東多治井地区に於いても、昨年7月と10月に路線バスが2度にわたって減便になりました。両隣の小平尾地区会、多治井自治会と話し合い3自治会共同で、バス路線に対する要望書を堺市長、美原区長宛に提出しました。美原区自治連合協議会からも堺市長宛に要請をしていただきました。金剛バスや阪急路線バス廃止をみる時、改めてこの問題に取り組まなければならないと、両隣自治会長と話し合っています。美原区では交通環境の整備がまちづくりの重要課題です。そのために区内の自治会にも呼びかけ、美原区の自治会とのつながりを持ち、「笑顔があふれるまち 美原」を美原区内の人と一緒に創っていきたいと思っています。

美原区で安全で快適な交通環境への取組の強化に取り組んでいただくよう改めて要望します。